

「根性が有る」・「根性無し」・「根性悪」などと、その人の根本的な性質として「根性」を使っています。仏教では、その人の宗教的能力、教えを聞いて修行しうる能力の意味で、「機根」とも云います。そして悟りを得て仏となる本性を、「仏性」と云います。「仏性」は誰にでも具っていると考えており、それを磨くことが修行なのです。

釈尊は、一人一人の機根（根性）を大切にしてい、その人に合った諭しをされました。「対機説法」と云います。相手の機根（根性）に合った話しでないと正確には通じないのです。私達も普段の生活の中で、もう少し相手の機根に合った接し方を心掛ければと思います。